

留学モデルケース

経済学部 経済学科 昼間コース

比較的
留学しやすい時期

2年次後期以降

※1年次後期以降のいつでも
留学することができます

留学中における
カリキュラム上の配慮

- ・ 演習・卒業論文の
オンライン対応(指導教員による)
- ・ 演習の履修要件の緩和

留学前の相談体制

まずチューター及び支援室に

- ・ **留学意欲があること**
- ・ **留学したい期間**
を伝えてください

留学にかかるお金（交換留学の場合）

- ・ 欧米（1学期）：約115万円
- ・ 中国（1学期）：約55万円

※上記に含むもの
渡航費・宿泊費・食費・教科書代・保険料・ビザ申請費・携帯電話料金・交際費等
※留学費用は為替レート等の関係で変わる可能性があります。

留学をサポートする
奨学金 >>>



2024年度入学生におけるモデルカリキュラム(3年次前期(2月から6月まで)にHUSAプログラムで留学する場合)

※学芸員資格等を取得するためのカリキュラムは含んでいません

1年次 前期	1年次 後期	2年次 前期	2年次 後期	3年次 前期	3年次 後期	4年次 前期	4年次 後期
<p>【教養教育科目】 22単位</p> <p>大学教育入門 教養ゼミ 平和科目 英語 初修外国語 情報・データサイエンス科目 領域科目 基盤科目 等</p>	<p>【教養教育科目】 12単位</p> <p>英語 初修外国語 情報・データサイエンス科目 領域科目 基盤科目 等</p> <p>【専門基礎科目】 10単位</p> <p>経済数学 統計学1・2 経済史総論1・2</p> <p>【専門科目】 2単位 特別講義</p>	<p>【教養教育科目】 10単位</p> <p>【専門基礎科目】16単位</p> <p>ミクロ経済学1・2 国際経済学1・2 マクロ経済学1・2 金融論1 経済政策論1・2 財政学1・2 等</p> <p>【専門科目】20単位</p> <p>計量経済学1・2 金融論2 経済統計学 ファイナンス1A・1B 公共経済学1・2 財政学3 国際金融論1・2 労使関係論 地方財政論1・2 特別講義 等</p>	<p>【演習】(4単位)</p> <p>カリキュラム上の配慮</p> <p>【オンライン対応】 演習</p> <p>★指導教員によりますので 事前にご確認ください</p> <p>★留学先での単位修得状況に 応じて、単位互換すること が可能です</p>	<p>【卒業論文】(8単位)</p> <p>【専門科目】20単位</p> <p>応用ミクロ経済学1・2 ファイナンス2・3 日本経済史1・2 労働経済学 経済学史1・2 労使関係論 医療経済学1・2 都市経済学 国際経済政策論1・2 地域経済政策 市場と規制の経済学 特別講義 等</p>	<p>留学準備(情報収集、留学相談、語学検定試験対策)</p> <p>HUSA申請 (2次募集)</p> <p>演習加入手続</p> <p>留学</p> <p>インターンシップ参加</p> <p>大学院入試</p> <p>就職活動</p>		